

# 令和元年第 13 回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和元年 12 月 26 日（木） 午後 1 時 30 分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4 A 会議室

出席委員	教 育 長	大 畑 雅 幸
	教育長職務代理者	鎌 田 基 子
	委 員	樋 田 千 史
	委 員	西 尾 修 欣
	委 員	村 松 訓 子

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長	安 藤 一 博
事務局長	加 藤 真 治
教育総務課長	西 尾 克 子
教育総務課総務係長	古 屋 恵 子

## 議 題

### 報告事項

- 報第 1 号 東京オリンピック事前キャンプについて
- 報第 2 号 国体スタートアップイベントの開催について
- 報第 3 号 平成 31 年度教育委員会重点目標の進捗状況について
- 報第 4 号 恵那市の園小中学校のトピック（1 月）について
- 報第 5 号 恵那市中央図書館月別利用状況
- 報第 6 号 中山道広重美術館月別観覧者数
- 報第 7 号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数
- 報第 8 号 その他

開 会（午後 1 時 30 分）

### 1 会議録の承認

令和元年恵那市教育委員会第 12 回定例会会議録の承認がされました。

### 2 教育長の報告

教育長 まずもってこれで 1 年が終わりそうです。教育委員の皆様方にも本当にご尽力を賜り、ありがとうございました。

特に教育長訪問の折には、それぞれ分担して全ての学校に同行していただき、大変ありがとうございました。学校も張り合いがあったと思っています。

いろいろ前後になるかもしれませんが、一つには、教育委員会だよりが机上に配られているかと思います。恵那市には小学校 14 校、中学校 8 校ありますが、全国で学校として褒めていただけることが多くありました。個人的に全国大会

に出場することも素晴らしいことですが、教育活動が活かされるというより保護者の熱意が大きく影響しています。裏面にありますように、今年は、岩邑小学校・中学校が、ふるさと教育で文部科学大臣賞を受賞しました。この取り組みの背景にはコミュニティ・スクールがあるわけですが、地元の全面的な協力があつて受賞できました。同じように恵那東中学校も、生徒みずからがリーダーとなって活動する防災への取り組みに対し、同じく文部科学大臣賞を受賞しました。

また、来月紹介させていただきますが、恵那西中学校2年生の6人のチームが科学の甲子園ジュニアに出場しました。科学の甲子園ジュニアはその場でお題を出され、みんなで話し合つて調べて見通しを立てて実験し、そして考察して発表するという、その場で応じるという対応力、適応力を問われる大会で、恵那西中学校の生徒は初めて出場して、岐阜県大会で優勝し、全国大会でつくばまで行きました。そこでは上位を獲れたわけではありませんが、私が願っていた子どもの姿、世の中に打って出られるような子が出始めたと思っています。

それから、すでに新聞で読まれたかもしれませんが、恵那西中学校の2年生の女子生徒が、法務省が行っている全国人権作文コンテストで県大会では1位、全国では中央大会法務省人権擁護局長賞を受賞しました。作文の内容は国際交流協会のオーストラリア研修でホームステイをした先のお母さんの話でした。そのお母さんは車椅子で生活している方で、初めはどう接していいか困ったけれど、結局そのお母さんは、そうそう手伝ってくれなくてもいい、やれることは自分でやるという方で、初めから障がい者というふうに見るのではなく、そうではない人の生き方を学んだという内容でした。岐阜県だけでも1万3,000何人の応募者の中から最優秀賞を受賞し、全国にも行ったという素晴らしい子が出てきたということで、今年は、全ての学校ではありませんが、秀でた部分が出てきたと思っていますし、こういうことをお手本にしながら、恵那市全体の底上げが図られ、そしてリーダーが育ってくれると思っています。

それから、12月議会がきのうで終わりました。教育委員会関係は、5名の議員さんからご質問があり、副教育長と事務局長が答弁をしました。簡単に説明すると、高校生の不登校の状況および市教委の対応と市の体制があるか。この夏の小中全部が参加した避難訓練に関わつて、小中学生の登下校時に災害が起きたときの対応はできるか。次に、ねんりんピックやイベント関係での恵那市のおもてなし、国体のスケートリハーサル大会が来年にはあるため、その準備はできているかという質問でした。

また、こども園の関係では、特に保育士の待遇についてです。待遇改善をしていかないと人材が集まらない、人材確保の提案も含めたご質問でした。

最後に、障がい者用の支援アプリでUDトークというものがあり、それについてのご質問がありました。

人事がいよいよ始まり、教育事務所との懇談も終わりました。恵那市の状況は、いつもお話をしているように教員が少ないため、例えば教務主任は学校の数だけ必要ですが、教務主任をやりきれぬ人材が乏しくなってきました。これは全

県的なことですが、特に恵那市は顕著です。

全県的にというのは、この教務主任を担っていくような40代ぐらいの教職員が、採用時に極めて少人数しか採用していません。年間100人という時代が数年間続き、そのころ採用された方は、学力は極めて優秀ですが、人数的に大変少なく、その方たちが着実に育ち切っているというわけでもないため、非常に今やりくりが困っています。

管理職登用は、二次試験へ進む本人への通知が終わりました。最終的に登用される人数の倍ぐらいが二次へ進みますので、大勢受かってくれればいいと思います。恵那市の規模から考えると校長は2人、教頭は3人というのが順当なところですが、それにプラスアルファして1人でも大勢登用されれば、本人も頑張れますし、後輩の先生方もモチベーションも上がると思っているところです。

あした、恵那市教育委員会として最終の面接練習を行います。先週、1人ずつ懇談をして、それぞれの弱点や魅力、アピールの仕方、勉強しておくことなどのアドバイスを一人一人にしたところです。

また、文化振興会の会長が、この12月20日をもってご勇退されました。後任は以前、教育委員会事務局長で退職された方で、現在、理事をされている方です。

最後に、別でお配りした資料をご覧ください。コミュニティ・スクールの資料になります。1ページ目からは、後で目を通していただくことにして、最後のページを説明させていただきます。

ご承知のとおり、恵那市は、3年前に恵那北中学校区でモデル的にやっていたが、昨年、ことしと2年間、全部の小中学校でコミュニティ・スクールを構築し、かなり形になってきて既に成果を出してきています。

例えば、先ほど紹介させていただいた恵那東中学校の防災とか岩邑の小中学校も、その活動のバックボーンにはコミュニティ・スクールがあります。まだかつての学校評議員会に少し足したぐらいの学校もないことはありませんが、徐々に見通しが持ててくるかと思えます。それが図の左側の話です。学校運営協議会はもう動き出したということです。

それが、右側の緑色の方ですが、地域と書いてあります。ここに地域学校協働本部という、要するに国が日本全国この少子化の中で、当然学校は小規模化しますし、なかなか学校のスタッフだけでは子どもたちに十分な学校教育ができないため、地域の方にご支援をいただきましょうという発想です。

地域学校協働本部という組織をつくって、学校運営協議会と連携しながら、学校を応援していきましょうということですが、お互いに矢印が行き交っているのは、既にほとんどの学校が、恵那市は、地域自治区制をとっており、その代表の方は、学校運営協議会に委員として入っていただいています。

あわせて振興事務所には、塾長、他市で言えば公民館長がいます。これは、教育委員会の兼務職員ですが、この方も学校運営協議会の委員になっています。もう既に形ができています。「地域学校協働本部（仮称）」と書いてあります

が、名称は何でもいいのです。恵那市の13地域の地域自治区会の中で、学校運営協議会での活動などの話をする場さえ持つ、議題にあげていただければ、それで成り立つ状況だと私は見えています。

そして、地域コーディネーターという役割の人については、とりあえず塾長は、学校運営協議会の委員になっていますので、この人を充てて、いろいろ各地区の特色が出てきたら、塾長は塾長で三学の活動や公民館活動をやっていただき、別の人を新たにお願いするなど、地域にお任せしようと思っています。どちらにしてもこの中学校区なり何なりには、誰もいないということにはならないようにしたいと思いますし、この図で言うと、主に小学校区を想定と書いてありますが、恵那市の小学校区で想定しても小さ過ぎますので、やはり最終的には中学校区で行っていきたいと思っています。

今は、各学校区にありますが、実際地域から出てくる役員さんは重複しています。そういう状況はしばらく続くかもしれませんが、やがては中学校区でもっていきたいと思っています。

そういう形でこれをもとにしながら、国の補助事業にも手を挙げていきたいと思っています。以上になります。

委員 この資料はどこの資料ですか。  
教育長 文科省が作成しています。文科省のホームページで誰でも出すことが可能です。

### 3 教育委員の報告

委員 1年間よろしくお願ひします。  
私にとってこの1年というのは、2期目をさせていただいて最後の年になりますので、集大成といいますか。一生懸命やらせていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。  
今のことにも関連しますが、なかなか日々教育委員の存在意義というか、何ができるのだろうということは、自分自身に問いながらいるわけですが、やはり受け身になってしまうというか、いただいたことに対して対処していくということが、精いっぱい状況で、なかなか中長期的な自分なりの展望を持たずに来てしまいましたということを改めて思うところです。  
今のコミュニティ・スクールの件で、地域のコーディネーターという方はすごく人材が重要だと思います。学校ごとに窓口になる方がみえると思いますが、どなたが担当ですか。

教育長 教頭になります。  
委員 コーディネーターという役職がついたほうが分かりやすく、責任もしっかり持っていただけかという気がしますが、そのコーディネーターとまた地域のコーディネーターとでは違いますか。  
教育長 学校にはコーディネーターは必要ないです。  
委員 それは組織、あり方として特に設けていないということですか。  
教育長 はい、そうです。  
委員 ただ、言い方はコーディネーターでなくてもいいのですが、誰が見てもコミュ

ニティ・スクールの総括者だと分かりやすくした方がいいと思います。

教育長 実質的には、教頭に指示しながら教頭を窓口に行っているところは、組織的なほうで、校長さんが全面やっているところを見ると、結局自分の学校の経営方針に賛同していただいた形で、学校運営協議会を動かしています。学校運営協議会の会長はメンバーの中から選んでいるので、校長ではありません。メンバー構成や人数も、学校に任せてあります。

委員 これは仮称ですが、この地域学校協働本部がイコール学校運営協議会ということもあり得ますか。

教育長 いえ、そこまでにはならないと思います。  
学校運営協議会にはPTA会長さんや中には民生委員さん、主任児童委員さん、部活やクラブの育成会の代表者が入って見えます。地域学校協働本部はもっぱら地域住民の会になります。

委員 それぞれ任期が変わってくるということですか。

教育長 毎年見直しになります。恐らく充て職で入って見えますので、メンバーは変わっても組織の形は変わらないと思います。壮健クラブの方が学校運営協議会に入っている学校も二、三あったと思いますが、これは子どもの見守りをやっていたら関係もあります。

委員 盛り上がっていくといいと思います。

教育長 本当にそうですね。ただ自分の家に小中学生の子どもがいるのといないのでは、熱の入りようが全然違い、情報も全然違ってきます。回覧板でいつも学校の様子が分かるようにしたり、地域によっては学校報を配ったりしている学校もありますので、活発にしていければと思います。

委員 先日、新聞に恵那北中学校が載っていました。半ページにわたって3年生が中心となっておもてなしをしている記事でした。先ほどの話ではありませんが、恵那市の学校が宣伝されている、学校のことが新聞に載っていて大変うれしかったです。

教育長 岐阜新聞の本社から特別に記者さんが来て、1日学校に張りついていろいろ取材されました。

委員 以前、武並小学校も載っており、先ほどのこのニュースではありませんが、ああいう話が宣伝されているのはいいなと思いました。

私のほうは、2点です。一つは私の知り合いが学校へ入っていったときの話で、トイレが臭うという話がありました。空調設備はできていますが、トイレの和式がまだある。以前、洋式に変えてほしいと話をしたと思います。予算もかかることですが、洋式化できないかと思っているのですが。

教育長 トイレの洋式化の話は動きだしております。事務局長さん、説明できるところまで説明していただけますか。

事務局長 昨年から少し検討をしており、どういう形で洋式にするのか、和式を一部残した方がいいのかなどの議論が必要になり、広く市民から意見を聞くということで検討委員会を立ち上げました。検討委員会のメンバーには、学校の養教諭や学校医、薬剤師代表、保護者、防災関係者の方に入ってください、12月3

日に検討委員会を開催し意見をいただきました。

ウォシュレットが要るかどうかとか、それから和式を残すかどうかとか、そういう議論もありました。

委員 それはトイレだけのための検討委員会ですか。

事務局長 はい、そうです。こども園はどうするかという話もありました。また、床を昔のタイルのように水で洗える湿式にするか、今は乾式とって、そのまま靴で入っていくタイプにしたほうがいいのかなどご意見をいただきました。結論からいくと、全部洋式にしたほうがいいのかという意見でした。数も洋式はスペースが必要になるが、できるだけ残していきたい。それからウォッシュレットについては、こども園は必要ないでしょう。小学校の低学年についても必要ないということです。和式を残すか残さないかというところが、一番議論となりました。

子どもたちの運動器が落ちてきており、座ると立てない子がいっぱいできているため、和式を残して習慣付けしたほうがいいのかという強い意見がありました。しかし、上矢作では和式を一つ二つ残していますが、子どもたちは結局使っていないそうです。和式を残しても使わない現状があるならば、全部洋式にしたほうがよい。便座ヒーターやウォッシュレットも基本的にはつけていくという意見でした。

また工事はこども園、小学校から行っていくと、中学校に上がって和式になってしまうこともあるので、エアコンのときは低学年から行うという話でしたが、洋式化は中学校から工事をしたほうがいいのかとご意見をいただきました。いただいた意見を内部で調整して、来年度設計をして、予算がかなり必要ですので、工事については2年か3年ぐらいかかるかもしれませんが、全ての学校を洋式化にしていくという方向で進めていきたいと考えています。

委員 洋式になるとスペースが必要になりますね。壁を取る必要が出てきますか。

事務局長 そういう場合もできます。学校によっては、子どもが減ってきているので、トイレの数を減らしてもいいと言っているところもあれば、数を確保してほしいというところもありますので、細かな点については学校の意見を聞き取りしながら進めていく必要があります。

委員 ありがとうございます。もう一つですが、新聞を見ていると、岐阜市のいじめ問題がたくさん出ています。教育長さんのコメントや第三者委員会のコメントなどが出ています。すごく気になったのは、学校の体制のまずさをすごく批判されている。連携不足とか、上司へ通達しなかったことなど、そういうことでいじめを何かはき違えている気がしました。土岐市が県からの文書をすぐに教育長名で校長会に配ったということが新聞に載っていました。それはいじめに対してマニュアルどおりで恵那市にもありますが、それだけではちょっと足りない気がして、隣の新聞ページを見ていたら、スクールロイヤーという言葉が出てきました。スクールロイヤーというのは、弁護士が子どもたちの授業に入って、例えば言葉の暴力など発した場合には侮辱罪と、それから何か物をたたいたりすると傷害罪、そういったことを弁護士が子どもに説明する。そうす

ると、子ども同士でこれを告げるといじめられるとなると子どもは黙ってしまう。ただし、それは権利として法で守られているということを子ども自身に、授業をしていくという記事が載っていました。

確かにマニュアルのように何かあったら対応していくということは大事ですが、やはり子どもに対していじめはいけないという教育が必要ではないかと思えます。あの記事を見ていると先生ばかりが批判されていて、保護者もたまらないと思えます。教育者も研修校を外せとか、そのような話も出てきていますが、それは違うような気がします。研修校の先生方は、子どもは自分のクラスにいじめがあると言えないかもしれない。恥ずかしくて、伝えられない状況をつくっているからこのようになってきたかと思えます。子ども自身にいじめは絶対にいけないものだ、あなたたちは法で守られていると。それを先生は言っているが、さらに弁護士みたいな専門家が言えば、子どもたちは堂々と物を言えるようになって、いじめはいけないと身にしみてくるのではないかということをおもいます。子どものいじめはなくなる。先生たちの連携を大事にしてもいじめはなくなりません。それとまた手を他にも見ていくということが大事だと、新聞記事を読んで思いました。

委員 報告ではなく雑感としてお聞きいただくようお願いします。

最近、続編が刊行された小説の最初のころの本を40年ぶりに、読み返しています。今回刊行された続編というのが、もう20年ぐらい間があるため、最初から読まないで内容を思い出せないと思ってまた読み始めたのですが、面白いです。読書は嫌いな方ではなく、話題の本などはよく読みます。その本を読み始めたのはいつごろかと思ったところ、小学校や中学校は余り読書をしたという記憶がなく、高校のとき明知線で通学する際、往復で1時間以上の時間があったため、本を1冊持ち込んで読み始めたのが、きっかけだったのかと思ひ返しています。

恵那市でも各学校で読書活動に力を入れています、もっと啓発していくといいと思ひます。読書、本を読み始める機会、きっかけさえあれば、子どもたちは本を読んでくれると思ひます。だから、今取り組んでいる読書活動でいいということではなく、もっと広げていってほしいと思ひます。

令和2年の成人式の記念品も図書カードだそうです。むしろ、もっと低学年のころに図書カードを記念品としてもらったりすると、親御さんが、せっかくもらったのだから本を買いに行こうよというふうに誘ってくれたりするのではないかと思ひます。子どもに本好きになってもらう機会をいろいろな手だてを考えながら増やしていってほしいと思ひます。

委員 12月13日をもちまして任命書の交付式があり、また教育委員として2期目がスタートいたしました。よろしくお願ひいたします。

12月18日の午後から、恵那東中学校と恵那北中学校、串原中学校の合唱交流会があり参加しました。ふだん旧恵南地区だけのこちんまりとした人数での合唱しか聞いていなかったため、恵那東中の3年生の合唱はとても大人数で迫力がありました。恵那北中も3年生でしたが、北中の校長先生が自慢されたと

おり、長い曲をととも抑揚をつけてきれいな合唱でした。串原はあのままというか、少人数で一人一人が声を出してという、本当にそれぞれの特色ある合唱が聞けて、大変有意義な時間が過ごせました。

一番良かったことは全て生徒たちだけで作っていたということです。恵那東中が招いてくれたということで、恵那東中の体育館で開催されました。合唱委員の生徒が、計画から司会進行まで行い、職員は本当に周りで見ただけでした。最後の挨拶や講評も、それぞれの代表者が合唱を聞いた後でしか話せないこと、各学校の良かったところを上手に話していて、生徒たちが最初から最後までつくり上げたという感じが本当に良かったです。

そして、恵那市子どもたちが、いろいろなところで表彰を受けたり、新聞に掲載されたりしたのを読み、本当に頑張っているという話を聞き、嬉しく思っています。串原中学校の1年生5人が壁新聞を作りました。中山太鼓の歴史について書いた壁新聞は、それぞれ担当を決めて作成し、持ち合わせて一つの新聞にしました。岐阜新聞社の「かべ新聞コンクール」に応募したところ、トップ10に入りました。1月に岐阜新聞本社で表彰式があります。生徒たちがいろいろ工夫をして作成し、5人全員で作りに意義があると話をしていたことを思い出しました。子どもたちが本当にやり切ったことも嬉しかったし、表彰していただけて、生徒たち、一生の思い出になると感動しました。

恵那の子たちは素直で、1つのことに取り組む底力がある。途中で投げ出さず、最初から無理だからという気持ちがないので、こうやって成果が出せたのかと思いました。

教育長 中学校は学校の規模にかかわらず、かなり活動的になってきたというか、生徒たち自らが動くようになってということを感じます。

振り返ってみると、各地域で若者が少なくなってきたため、中学生頼りなところもあり、出番ができてきたということもあります。学校の教育活動でいうと、最初は、恵南の中学校が合唱交流を始めました。その辺から他を意識し始め、お互いにある意味でいいライバル意識を持って学び合うようになってきました。来年は全部の中学校で合唱交流を行おうと計画を立てようとしているところです。子どもたちから、もっとみんなで学びたいと言うのではないかとそんな気がします。

もう一つ、いじめについては、恵那市も事件の直後に臨時校長会を開き、説明をしたり指示をしたりしてきました。校長先生や教頭先生までは、経験があるため、危機意識を持って職員に指導してくださいという話をしました。

若年のキャリアの浅い職員が多いだけに、我関せずという顔をせずに、お互いに気づいたことは言い合える、助け合える職場にしていかななくてはいけないと思っています。

委員 下田歌子賞に参加しましたので報告をします。エッセイで賞を受賞された方が、大阪のたこ焼き屋の方で、30代の男性でした。きっかけは童門先生のファンで、最初は下田歌子先生のご存じなかったそうです。受賞をきっかけに、下田歌子先生の本を読まれ、受賞スピーチで堂々と語られました。文学が結ぶ

御縁は、知的レベルが高く、本当にいい方が受賞され、華を添えていただきました。また、記念イベントでは、元宝塚の方を中心にすごく華やかな演出で、今までの感じとは一変して、下田歌子賞も様変わりしたと思いました。

教育長 最優秀賞を受賞された方は、教育委員会宛てにお手紙もくださり、若い方ですが熱意があります。

委員 志がテーマでしたが、それぞれの方の生きざまを垣間見せていただけたことはすごく良かったです。

#### 4 報告事項

教育長 報告事項第1号 東京オリンピック事前キャンプについて、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第1号 東京オリンピック事前キャンプについて、資料に基づき説明。

教育長 質問はございませんか。

委員 恵那市が、ホストタウンになったのは、ポーランド共和国のカヌーチームのホストタウンですか。それともポーランド共和国のホストタウンですか。

事務局長 ポーランド共和国のホストタウンです。

委員 関西電力の工事の関係で笠置峡の水位を下げるのであれば、これを機会にできる工事はほかにありませんか。例えば、今後コースを仮設する際に杭などが必要であれば設置する工事など、この機会に行えばいいと思います。

事務局長 出艇場あたりは、土砂が埋まっていますので、しゅんせつ工事を行います。コースは仮設ですので工事をするのではなく、ボートからブイを付けたいかのような重りをおろして設置してくため、水位が高かろうが、低かろうが関係ないので、今回の関西電力の工事に合わせて行うものではありません。

委員 今回は、そのスロープの増設と、しゅんせつの工事をするということですか。

事務局長 関西電力の工事に合わせて行うものは、そういうことです。そのほか本年度は進入路の舗装と県道への階段設置工事を行う予定です。

委員 ピンバッジは、スポーツ課で売っていますか。

事務局長 スポーツ課でも売っています。ほかに商工会議所、恵南商工会、観光物産館えなてらす、浪漫亭、各振興事務所で販売しています。

教育長 報告事項第2号 国体スタートアップイベントの開催について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第2号 国体スタートアップイベントの開催について、資料に基づき説明。

委員 チラシはどこが作りましたか。

事務局長 主催者である市と共催である県とで、調整して作成しています。

委員 裏面の一番下の問い合わせ先が、恵那市役所教育委員会とありますが、この表現に違和感がありました。恵那市教育委員会のほうがよいと思いました。

教育長 その他ご意見はありませんか。

12月22日に、恵那スケート場は来場者100万人達成のイベントを行いました。中津川市坂本のご家族が達成者であり、大変感動されていました。

委員 ジャパンカップの来場者数はどうでしたか。

事務局長 12月6日が1,000人、7日が1,500人、8日の日曜日が2,000人で、合計4,500人でした。関係者や選手も含めての人数になります。

委員 どちらからみえたかは分かりませんか。

事務局長 そこまでは分析しておりませんが、関係者や選手・コーチ・チームメートや家族が多かったと思います。

教育長 報告事項第3号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 報告事項第3号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はございませんか。

委員 進学の出願状況は、現在の時点でどのような感じですか。

教育長 市内の3校のうち、恵那南高は昨年から60人の定員になりました。今回は40人が切れるぐらいの希望状況です。恵那高は今年から1クラス定員が減ります。11月の段階では、減らさなくてもオーバーするぐらいの状況でした。また1月に調査で変わってくると思います。恵那農高は定員と同じぐらいです。中津川工業が少しずつ盛り返してきています。中津高は今までと同じぐらいで20人台オーバーという状況です。

恵那市・中津川市で受験生が昨年に比べて80人少ないので、県教委は本年度のターゲットを恵那高にして1クラスを減らしてきていると思います。結局、定員を減らしても同じ事です。減らせば私学へ行くだけになりますので、連携しながら調整する必要があると思います。この先は少子化になり、大変状況が厳しいです。

岐阜県の第3次教育ビジョンに基づいて行っていますが、次のビジョンでは、方向性を示す予告が出ると思います。職業科高校の再編が大きく違ってくるのではないかと思います。

委員 ことしの出生数が最低で、全国で90万人ぐらいです。20年後は恐ろしいですね。

教育長 報告事項第4号 恵那市の園小中学校のトピック（1月）について、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第4号 恵那市の園小中学校のトピック（1月）について、資料に基づき説明。

教育長 ご質問はございませんか。

委員 はい。

教育長 報告事項第5号から報告事項第7号の各施設の利用状況について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第5号から報告事項第7号の各施設の利用状況について、資料に基づき説明。

教育長 何かご質問、ご意見はよろしいですか。

委員 はい。

教育長 報告事項第8号 1月の行事予定について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 報告事項第8号 1月の行事予定について、資料に基づき説明。

教育長 1月は学校市教委懇もありますので、ご無理のない範囲で出席をお願いします。教育委員会の11月分後援申請は一覧のとおりです。そのほか、よろしいですか。

委員 はい。

教育長 次回教育委員会の日程確認。  
第13回教育委員会定例会を閉会します。  
午後3時15分閉会を宣言します。

令和元年12月26日

教育委員 鎌田 基予子

教育委員 樋田 千史